

2020.9.30

カノコソウ産地化取り組み事例紹介

稲畑産業グループ

アイケイファーム余市/積丹株式会社

栃尾 裕輝

 **アイケイファーム 余市の紹介**

 **取り組みの経緯**

 **試験栽培での失敗からの学び**

 **栽培方法の確立**

 **今後の課題**



アイケイファーム余市株式会社 アイケイファーム積丹株式会社の紹介

■ アイケイファーム余市(株)

■特徴

- ・カナダの栽培技術を導入したブルーベリー栽培
- ・日本最大級のブルーベリー栽培面積
- ・日本初の機械化による自動収穫と加工を計画
- ・各機械導入による作業効率化

所在地 : 北海道余市郡余市町黒川町1357番地

設立 : 2015年10月16日

資本金 : 75百万円

出資 : 稲畑産業株式会社 51%
Silver Valley Farms 49%(カナダ)

栽培品目 : ブルーベリー、ブドウ

栽培面積 : 15ha(確保面積:20ha)

現在の栽培本数:3.5万本



■アイケイファーム積丹(株)

■特徴

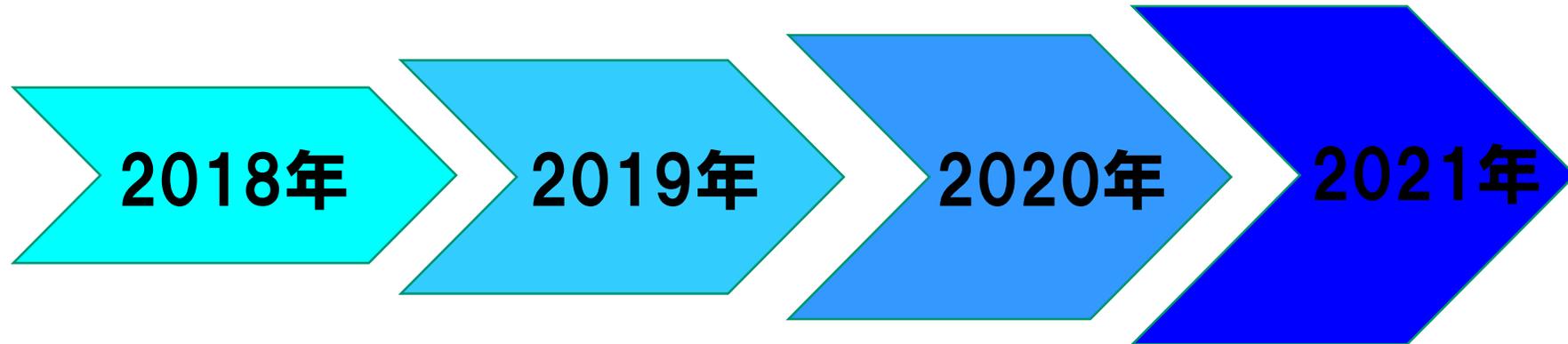
- ・ホワイト六片種のにんにく種子栽培
- ・機械による定植、収穫、調整
- ・にんにくはスペイン大規模化機械

- ・所在地 : 北海道積丹郡積丹町
- ・設立 : 2017年5月
- ・資本金 : 50百万円
- ・出資 : 稲畑産業株式会社 100%
- ・栽培品目: カノコソウ、にんにく
- ・栽培面積
- ・①にんにく:
 - ・2019年度 自社2.1ha、委託先として壮瞥、十勝2.6ha
 - ・2020年度 自社5.4ha、委託先12.9ha
- ・②カノコソウ:
 - ・2019年度 3畝
 - ・2020年度 2反
- ・



取り組みの経緯

小林製薬とアイケイファームの取り組み



カノコソウの
洗淨受託の
検討

カノコソウの
試験栽培の
開始

カノコソウの
栽培体系の
確立

カノコソウの
増産に向け
ての新たな
課題

2018年 カノコソウの洗浄受託を検討



運賃がかかりすぎる
事で断念



それであれば
自社で作らないかと
打診あり



カノコソウは細根で
掘り取った後は土だらけ

試験栽培での失敗からの学び

2019年 カノコソウの試験栽培開始

苗株づくり指導



苗株の切り分け



消毒剤で苗株の消毒



露地栽培 (1.5a)



定植深度不足で活着できず



鎮圧不足で株消失



マルチ栽培(1.5a)



株も大きく生育！！
想定5倍体であったが、
10倍体も有

マルチ栽培で行えば後志地区でも栽培できると確信

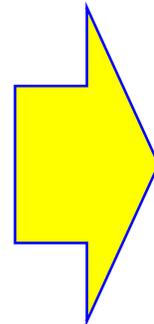
栽培方法の確立

2020年 カノコソウの栽培体系の確立

マルチ栽培



+防草シート+灌水チューブ



**マルチ栽培と防草シートで除草の手間を排除
追肥は葉面散布で対応し栽培体系を確立できた**

今後の課題

洗浄設備設置に向けての環境整備



カノコソウは
土砂が落とすのが大変



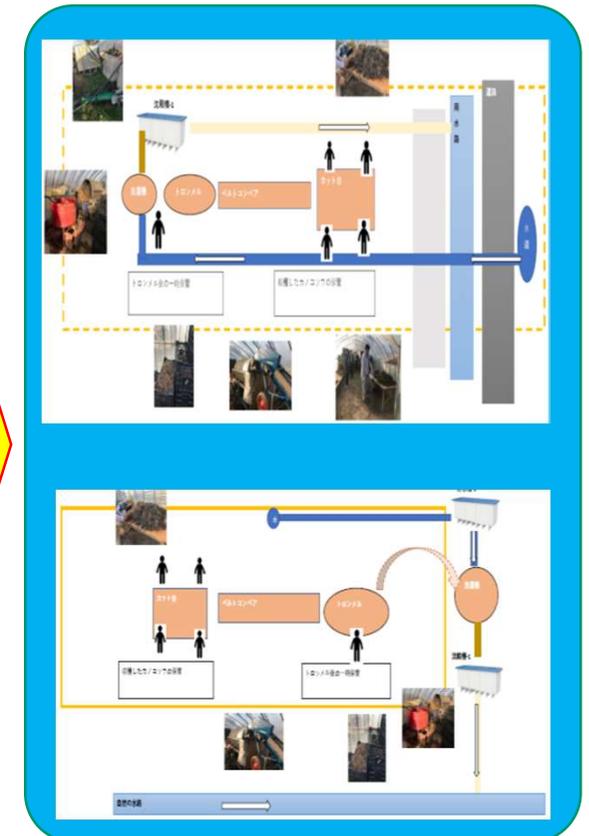
水洗する際の水の
確保ができていない

◆洗浄設備は小林製薬が開発

○トロンメル 押しつぶし&株ほぐし土落とし



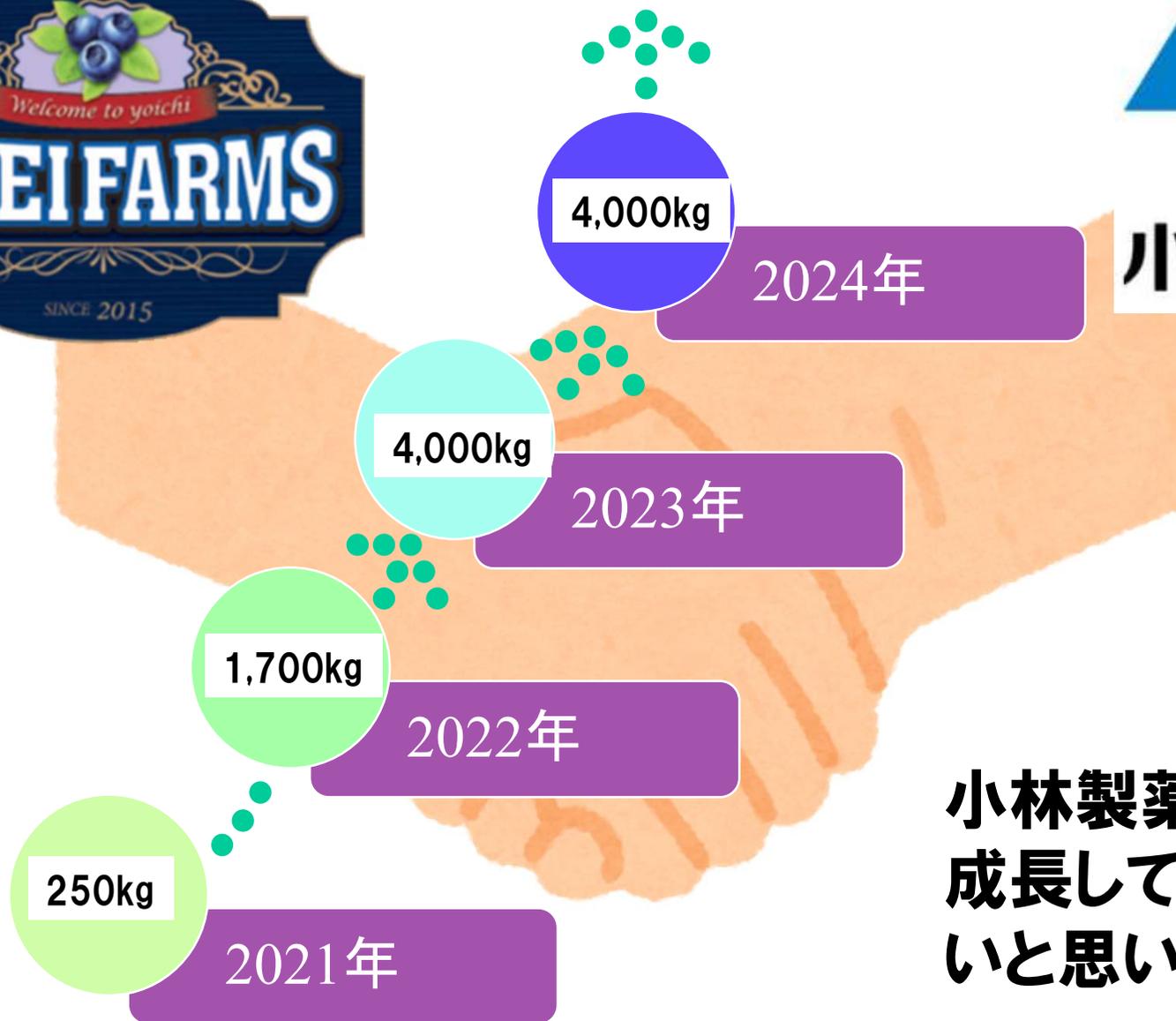
○洗浄機



水源を確保して
洗浄施設完成を目指す

本事業取組の所感

- ・小林製薬様に道内の既存のカノコソウ栽培圃場や施設を見せて頂けた事で、実際の作業・事業イメージを掴むことが出来た。
- ・一つのやり方に固執せず、弊社にあった栽培方法を小林製薬様も一緒に考えて頂けるのは非常に弊社にとっては有難かった。
- ・小林製薬様、既存のカノコソウ栽培農家さんが都度圃場に来訪頂き、適切なアドバイスをタイミングよく頂けたので、状況に応じて方向修正にすることが出来た。



**小林製薬と共に
成長していきたい
と思います！！**